

1. 校長戦略予算のねらい

大阪市教育振興基本計画の中において「将来の夢や目標を持っていると答える児童生徒の割合は減少している状況が見られ、あこがれの人物から教えを受けたり本物の文化に触れたりするといった体験的な活動のさらなる充実を図る必要があります。」と本市の課題の一つとして掲げられている。本校においても、学力・体力はともに一定の水準に達しているものの、生徒一人ひとりが未来の自分を見つめ自立していこうとする力においては課題がある。

年度当初に定めた運営に関する計画の年度目標の一つとして、道徳心・社会性の向上の視点において「生徒アンケートにおける『将来の夢や目標を持っていますか』の項目について『当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）』と答える生徒の割合を平成25年度より向上させる。（カリキュラム改革関連）」と掲げている。また、健康・体力の保持増進の視点において「生徒アンケートにおける『運動やスポーツ、体育的行事に積極的に活動している』の項目について「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と答える生徒の割合を75%以上にする。（カリキュラム改革関連）」と掲げている。

これらの年度目標達成に向け、今年度も道徳教育を充実する中で、キャリア教育と体験的な活動に重点をおいて取組を進めるとともに、命の根幹である体力・精神力を鍛え、逞しく生きる力を身に着けさせることができるよう取り組みを進めていく。

特に、加算配布予算では、「健康・体力の保持増進」に重点を置き、プロのダンス講師による体験授業を実施する。

今、ダンスは生徒にとって最も興味のある学習内容であり、運動嫌いの生徒でも運動を始めるきっかけとなる要素がある。本校では、平成25年度全国体力・運動能力調査の結果から、男女とも「立ち幅跳び」「ボール投げ」が全国・大阪市平均を下回っており、基礎的な体力づくりとともに個々の生徒が自分の体を効率的に動かせるような技術指導の改善に取り組む必要がある。

全身運動であるとともにバランスよく体を動かすことが求められるダンスは、巧緻性や瞬発力を高めることが期待される。また、専門的な指導者により導入段階から継続的に学ぶことで、運動への興味・関心・意欲を高めることができるとともに、将来に夢や目標を持って学習する生徒の育成を図ることもできる。さらに、グループ対抗の発表会を実施することにより競争心を高めることができ、グループごとに創意工夫したダンスを創り上げることは、創造性、協調性、自主性をはぐくむ学習機会となることも期待される。

2. 予算額

(1) 基本配布予算額 479,940円

	予算額	
報奨金	264,300円	各体験学習講師謝礼金
通信運搬費	102,400円	大阪体験学習交通費
使用料	87,320円	鶴見区民センター使用料
船車賃借料	25,920円	合唱コンクール楽器運送料
合 計	479,940円	

(2) 加算配布予算額 1,368,000円

	予算額	
報奨金	568,000円	講師謝礼金
校用器具費	800,000円	電子黒板
合 計	1,368,000円	

3. 取組内容

(1) 基本配布予算取組内容①【区分 道徳教育の推進】

豊かな体験活動の推進により、生徒一人ひとりの感性や情操を育む。

○ 合唱コンクール

実施時期：10月30日（木）

リハーサル 10月24日（金）

対 象：全学年

内 容：鶴見区民センター・大ホールを使用しての合唱コンクール

本格的な舞台・会場において、学級対抗の合唱コンクールを行う。

○ 進路講話

実施時期：9月29日（月）

対 象：3年

講 師：菅公学生服株式会社人事部人材開発課 千綿智恵

内 容：社会人の心得セミナー・面接指導

企業が求める人材、社会人としての心構えや身に付けておかなければならないマナーについて学習するとともに、面接試験における注意事項等について学習する。

○ 看護の出前授業

実施時期：12月（未定）

対象：2年

講師：看護職4名

内容：いのちの大切さ、こころとからだの話

人の生死にかかわる看護職の出前授業をとおして、「命の重み」「命の誕生」について考えるとともに、第2次性徴にともなう心や体の成長について学習する。

○ 職業講話

実施時期：2月（未定）

対象：1年

講師：10職種より10名

内容：「働くこと」の意義

様々な職種の方から、これまでの経験や仕事を通して学んだこと、学生時代の話や今の仕事についたきっかけなどについて聴くことにより、社会人としてどうあるべきか、今何をしなければならないのか、ということについて学習する。

○ 大阪体験学習

実施時期：2月13日（金）

対象：2年

内容：班別行動により本市の公共施設や環境学習施設を体験することや大阪の歴史触れることにより、地域社会の一員としての自覚を持つとともに、自分たちが住む大阪について学習する。

（2）基本配布予算取組内容②【区分 体力向上の支援】

トップアスリートや専門的な技術指導者、大学教授による実技講習会を実施し、子どもの運動に対する関心・意欲を高めることにより、体力の向上を図る。

○ トップアスリート水泳特別授業

実施時期：7月9日（水）

対象：1年

講師：シドニー・アテネオリンピック シンクロナイズドスイミング チーム銀メダリスト 巽 樹理

内容：保健体育科・水泳授業

シンクロナイズドスイミングを取り入れたトップアスリートによる水泳の授業をとおして、水泳の楽しさ、体を動かすことの楽しさを体感する。

○ 大学教授実技講習会

実施時期：7月29日（火）

対 象：部活動運動部員（1・2年）

講 師：関西大学人間健康科学部 河端隆志教授

関西大学人間健康科学部 河端研究室学生4名

内 容：無駄のないスポーツ動作（座学・実技指導）

身体の成長やトレーニングについての学習を深めるとともに、科学的な理論に基づいた動作を習得することで、それぞれの競技のパフォーマンスの向上を図り、運動に対する学習意欲を高める。

（3）加算配布予算取組内容【区分 体力向上の支援】

○ プロのダンス講師による体験授業

実施時期：11月（未定）

対 象：全学年

講 師：スタジオAX インストラクター3名

内 容：保健体育科・ダンス授業

プロのダンス指導者を講師に招き、保健体育科教員と一緒にチームティーチング形式で授業を行う。導入・基本・応用・まとめと専門的な指導者により継続的に授業を行い、体を動かすことの楽しさや仲間と協力して一つのダンスを創り上げることの楽しさを体感するとともに、保健体育科教員の研修の場とする。また、電子黒板を使った授業を展開し、生徒の学習意欲を引き出す工夫を図る。